

2025 年 10 月 29 日
弁理士連合クラブ副幹事長
船津 暢宏

連合旅行会報告 (連合の紹介と会務参加のお願い)

[連合旅行会の概要]

弁理士連合クラブ(連合)の副幹事長の船津です。

連合旅行会の担当ではありませんので、以下は個人的な感想を書かせて頂きます。

その前に、連合は、弁理士同友会様と我々の弁理士クラブ(弁ク)の二派で構成され、両派が協力し合って日本弁理士会(本会)の会務活動を支えています。また、連合以外には、日本弁理士クラブ(日弁)と西日本弁理士クラブ(西弁)の会派があり、連合、日弁、西弁の三派が協力して活動しております。

さて、連合の旅行会は、2025(令和 7)年 9 月 6～7 日で北海道の札幌で開催されました。

宿泊先は、ホテルルートイン札幌中央で、宴会は、羊々亭札幌本店でジンギスカンを堪能することができました。

宴会には、北海道経産局の知的財産室長の早乙女様が参加され、地方でのイノベーション、知財活動についてご意見を伺うことができ、現在、関与しています横浜市立大学の知財サポートの参考にさせて頂きました。

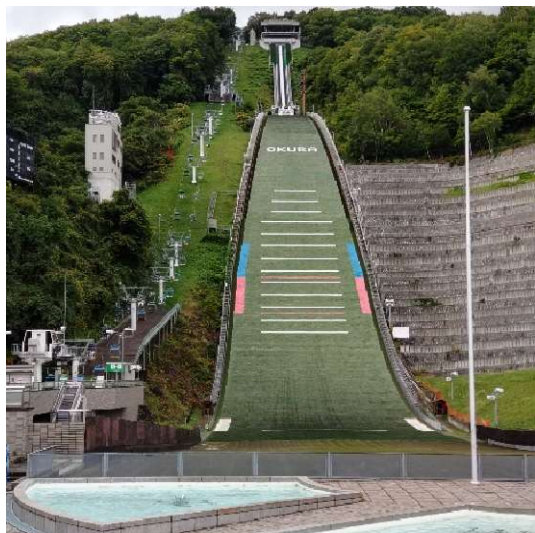
また、役員選挙の立候補受付直前の旅行会とあって、候補者が多く参加され、日本弁理士会への熱い想いを語ってくれたのは頼もしい限りです。



ジンギスカン

翌日は、ゴルフ組と観光組とに分かれ、私は観光に参加しまして、スキージャンプの大倉山

シャンツェを見学し、運河で有名な小樽を散策し、「青塚食堂」にて鯿定食を頂きました。その鯿の大きさと美味しさに驚かされました。



大倉山シャンツェ



小樽

[個人的な観光]

今回の旅行会は、前泊して、土曜の朝から観光して、夕方宿泊施設に入りました。

どうしても見たかったのは、NHK 札幌放送局に展示されています「カムイサウルス」の全身骨格です。愛聴しています NHK ラジオ「こども科学電話相談」でその存在を知り、回答者の小林快次先生の書籍「恐竜まみれー発掘現場は今日も命がけー」で発掘秘話を読み、日本で全身骨格があるのはカムイサウルスだけと知り、興味が湧きました。

「こども科学電話相談」で、一生懸命に質問するこども達と分かりやすく解説しようとする回答の先生達のやり取りを聴くと、日本の未来はまだまた明るい、こども達のためにより良い社会を残そうという気持ちになって元気をもらえる番組です。



カムイサウルス

[日本弁理士会における連合の立ち位置]

現在、日本弁理士会の会長は、西弁を母体とし、西弁主導で会務運営を行っており、そこに日弁と連合がサポートする体制です。

以前、日弁の会長時代は、会務サポートは日弁内で行われており、今回のような三派が一体で協力し合うのは初めてではないかと思います。

西弁の会長の登場により新たな三派体制が出来上がりつつあります。以前に増して連合の役割が大きくなっているのも確かです。連合副理事長として、重要な局面に関与して責任の重さを感じることもありますが、本会の会務運営へ連合がしっかりサポートできるようにして参りたいと考えております。

[連合における弁クの役割]

2026(令和8)年は、我々弁クから連合幹事長を排出します。北村会長の2年目の会務活動を連合として支えるには弁ク会員の皆様のご協力が不可欠です。弁クの皆様の考えが会務活動に益々反映されるよう連合として尽力しますので、積極的な会務活動へのご参加をお願い申し上げます。弁クの力で日本弁理士会を盛り立てて参りましょう。

以上